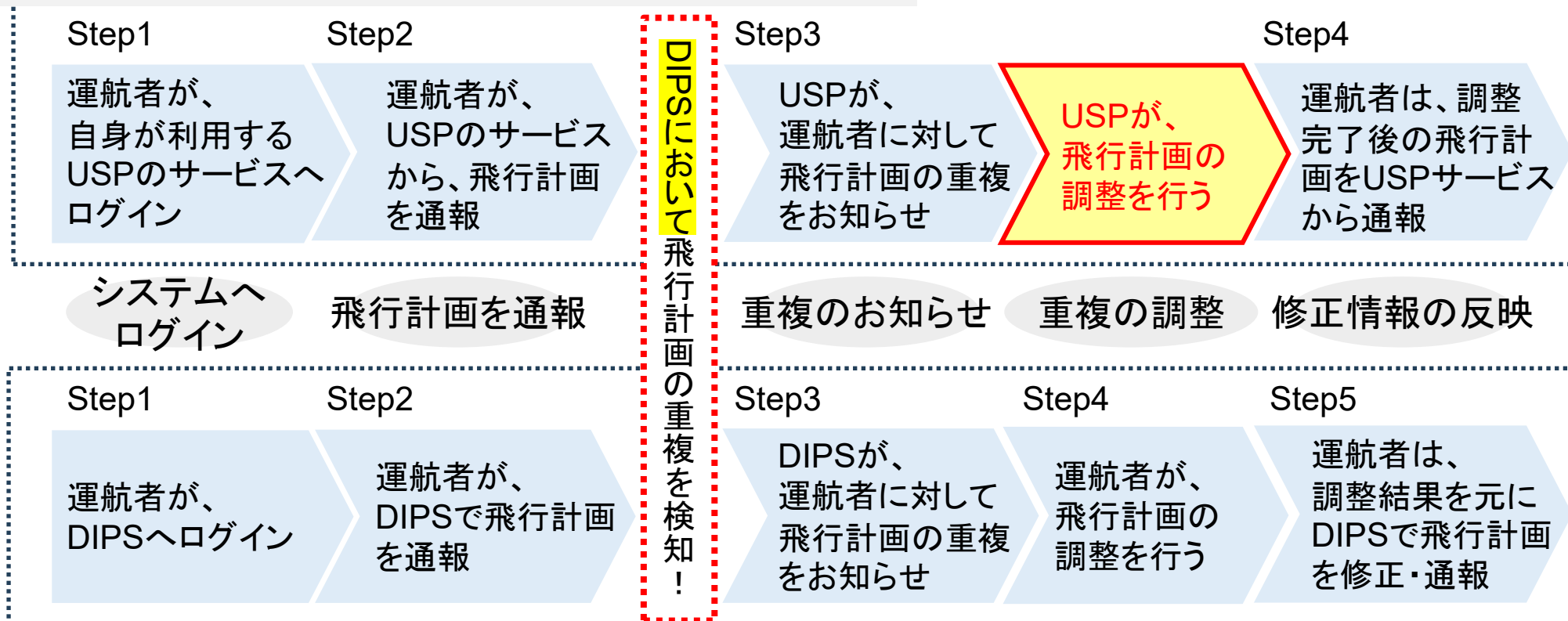


飛行計画重複時の調整フローの概要

- USPのサービスを利用すると、飛行計画の重複が発生した際に、**原則として運航者に代わってUSPが調整を行います。**

※調整後の飛行計画は、運航者自身がUSPサービスを通じて通報する必要があります。

USPを利用する場合・・・**重複の調整**はUSPが行う(※1)



USPを利用しない場合・・・運航者が全て行う

※1 USPサービスを利用する場合でも、運航者自身が飛行計画の調整を行うことは可能です

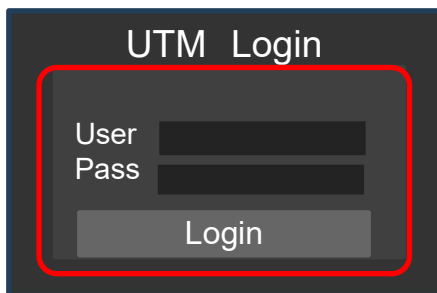
1. 飛行計画の通報手順

• USPのサービスを利用して、飛行計画の通報を行います。

※USPのサービスとDIPSは連携されているため、運航者は、DIPSから飛行計画を通報する必要はありません。

USPサービスを利用する場合

OSTEP-1: USPサービスにログイン

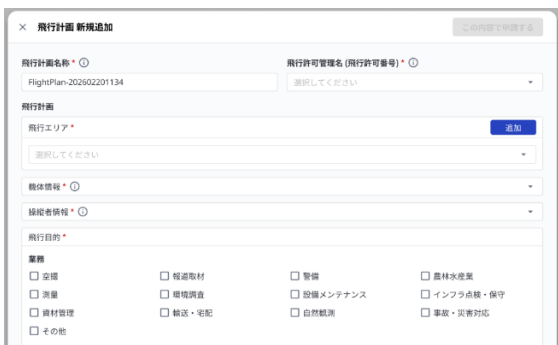


USPサービスを利用しない場合

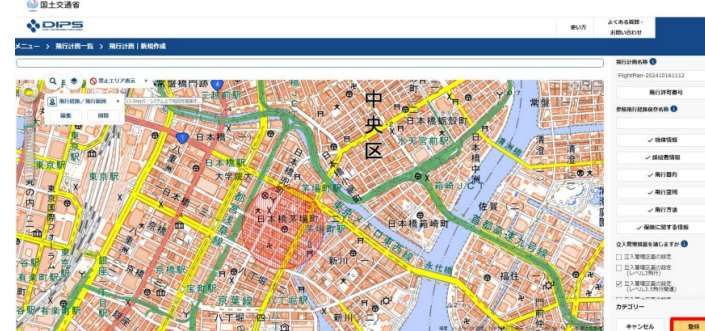
OSTEP-1: DIPSにログイン



OSTEP-2: USPサービスから飛行計画を通報します



OSTEP-2: DIPSで飛行計画を通報します



※: USPサービスのイメージ図はReAMo提供

【留意事項】

- USPサービスから提供される空域制限情報等は、DIPS等と連携されているものなるため、運航者は、DIPSにて空域制限情報を確認する必要はありません。
- USPが適切な空域制限情報等を提供出来ない場合には、USPは、当該サービスを利用する運航者に対して、その旨の連絡を行います。連絡を受けた運航者は、当該連絡に沿った対応をお願いします。

2. 飛行計画の重複調整 1/2

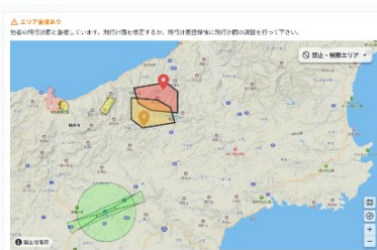
- 重複通知がご利用のUSPに送信され、**運航者に代わってUSPが重複の調整を行います。**

※調整後の飛行計画は、運航者自身がUSPのサービスを通じて通報する必要があります。

USPサービスを利用する場合

【STEP-3】

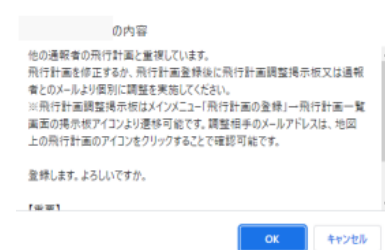
利用しているUSPから、飛行計画が重複している旨が通知されます。(USPの通報画面)



USPサービスを利用しない場合

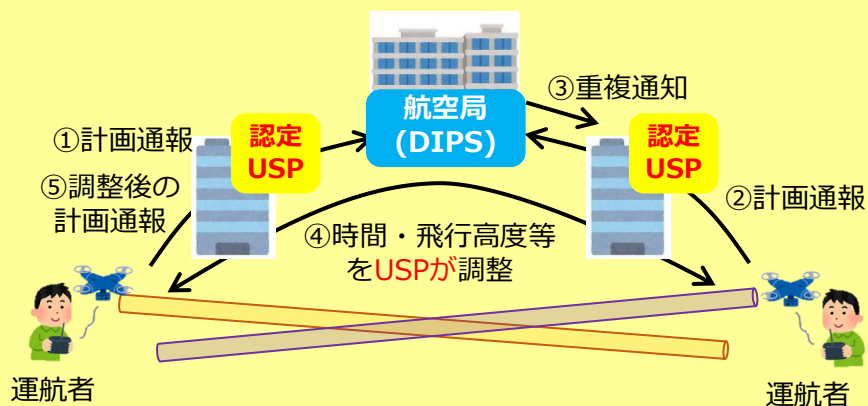
【STEP-3】

飛行計画が重複している旨が運航者に通知されます。(DIPSの通報画面)



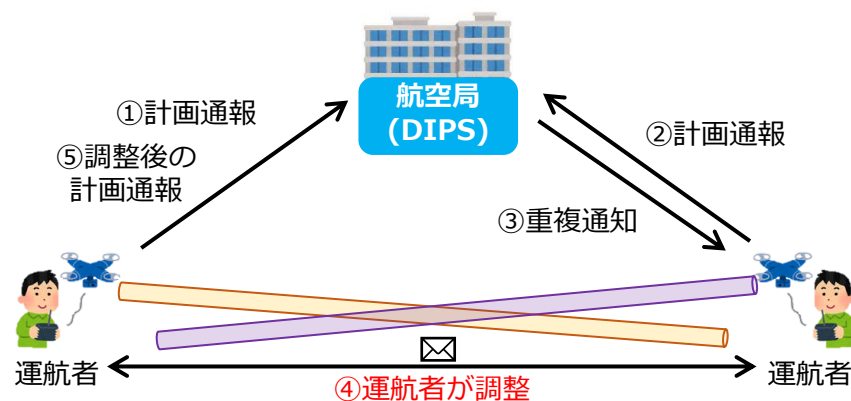
(USPが対応)

運航者に代わり、**USPが**飛行計画の重複調整を行います。



【STEP-4】

運航者自身が飛行計画の重複調整を行います。



【留意事項】

- 「USPサービスを利用する場合」に示す内容は、運航者自身で飛行計画の調整を行わない場合のものとなります。

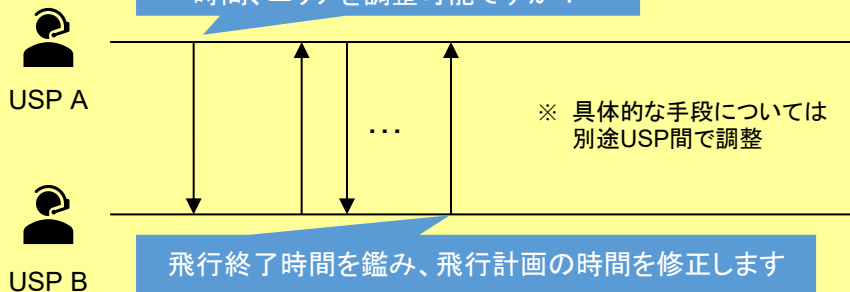
※: USPサービスのイメージ図はReAMo提供 3

2. 飛行計画の重複調整 2/2

USPサービスを利用する場合

(調整方法例) **USPサービス**を活用

重複している飛行計画XXXIについて、
時間、エリアを調整可能ですか？



飛行終了時間を鑑み、飛行計画の時間を修正します

(重複調整完了後)

【STEP-4】

運航者は、**USPサービス**から修正した飛行計画を通報します

【留意事項】

- 「USPサービスを利用する場合」に示す内容は、運航者自身で飛行計画の調整を行わない場合のものとなります。
- 飛行計画の重複判定は、引き続きDIPSが行います。

USPサービスを利用しない場合

(調整方法例) **DIPSの調整揭示版**を活用

(重複調整完了後)

【STEP-5】

運航者は、**DIPS**から修正した飛行計画を通報します

※: USPサービスのイメージ図はReAMo提供

3. NOTAM(ノータム:航空情報)発行

- 無人航空機の飛行に係るNOTAM発行に必要な手続きを、**運航者に代わってUSPが行います。**

※無人航空機の飛行に係る国土交通大臣への許可・承認申請手続きは、引き続き運航者にて行う必要があります。

NOTAM(航空情報)発行までの流れ (例) 補助者なし目視外飛行の場合

USPサービスを利用しない場合



USPを
利用すると

USPサービスを利用する場合



【留意事項】

- 飛行の種類によっては、運航者自身でNOTAM発行に係る手続きを行う必要があります。
- USPがNOTAM発行に係る手続きを行うことができるかどうかについては、事前に許可・承認申請を提出した機関に対してご確認ください。